

2026年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦 開催要項

主 催 一般財団法人関東大学バレーボール連盟
主 管 一般財団法人関東大学バレーボール連盟
後 援

I. 試合日程及び運営

1. 開催期間

2026年 9月 5日(土)～11月 1日(日) (1～3部)

2026年 9月 5日(土)～11月29日(日) (4～8部)

2. 入場料

男女1、2部のみ有料でのチケット販売を行う。(高校生以下は現地にて当日販売のみ)

ただし、一般財団法人関東大学バレーボール連盟に登録されている学生は入場料を無料とする。入場の際には学生証を携帯すること。

男子2部は料金を一律500円とする。

女子2部は一般客1000円、チームチケット500円とする。

下記の金額は男女1部

前売り販売(ローソンチケット)

(1) 大学生 : ¥1,000

(2) 大人 : ¥3,000

(3) フロア席 : 会場によって異なる

※ 決まり次第ホームページに記載

※購入時の手数料は購入者負担

チーム関係者

(1) 学生 : 無料

(2) 大人 : ¥500

会場販売

(1) 中高校生 : ¥500

(2) 大学生 : ¥1,500

(3) 大人 : ¥3,500

※中高校生は会場販売のみ

小学生以下は無料

※フロア席は前売り販売のみ

3. 大会運営及び日程・会場

(1) 学連委員または代表校を中心にリーグ戦を円滑に行うよう心掛けること。

(2) 日程・開催会場は各部で決定する。

4. 開会・閉会式

各部にて決定する。

5. 流行性疾患及び災害時の対応

(1) チーム内でインフルエンザやコロナウイルス等の流行性疾患にかかった人や、体調不良の選手が2名以上いる場合は、速やかに学連へ報告する。また、該当する選手は体調が回復するまで練習や試合への参加を控える。

コロナ渦を通じて、一人ひとりが感染対策を実施することが、チーム全体の安全を守る上で極めて重要であることが再認識された。集団感染が発生した場合、試合や練習の継続が困難になるだけでなく、選手個々の健康やパフォーマンスに大きな影響を及ぼす。感染拡大を防ぎ、チーム全員が安心してプレーできる環境を維持するためにも、早期の報告と適切な対応を徹底する。

(2) 災害等が発生している場合は、危機管理委員会が、チーム状況を十分に把握した上で、延期もしくは中止するか否かを判断し、その内容を速やかにホームページに掲載する。

(3) 大会期間中に、チーム内で流行性疾患の発症者が複数名確認された場合であっても、試合への出場可否は各チームの判断に委ねるものとする。ただし、当該事由による再試合は行わない。

(4) 大幅な延期になった場合は、危機管理委員会で審議し、取り扱いを決定する。

- (5) 試合当日災害が発生した場合は、学連担当者及び会場運営管理担当者の注意事項（誘導）に従って適切な行動をとること。
- (6) 流行性疾患の発症により、試合参加が不可能な場合は、試合の前々日まで下記報告窓口へ連絡すること。

○感染症対策窓口：info@juvf.jp

○感染症対策電話番号：03-5244-4804

II. 大会参加資格

1. チーム参加資格

下記の条件を満たしていること。

- (1) 2026年度公益財団法人日本バレーボール協会（JVA）登録規定により大学として登録されその在学生で構成されたチームであること。
- (2) チームに在籍している学生はJVA個人登録（MRS）の登録者であること。
- (3) 2026年度一般財団法人関東大学バレーボール連盟、2026年度一般財団法人全日本大学バレーボール連盟の加盟校であること。また、本大会にエントリーされていること。
- (4) リーグ戦の選手登録の回数制限（年間2シーズン制の場合）について、大学の最短修学年数の2倍の回数内とする。
※2年制大学は4回、4年制大学は8回、6年制大学は12回
※学連登録年数は大学最短修学年数とする。
- (5) 大学院生、聴講生等は選手登録を認めない。
- (6) チームに必ずC級以上の審判資格を所有した者が在籍していること。

2. 大会出場の選手・スタッフ手続き

- (1) 選手・スタッフはチームのエントリー届に基づきプログラム（下部パンフレット）に記載されていなければならない。
- (2) スタッフのエントリー人数は部長（大人であり当該大学教職員）、監督、コーチ、トレーナー、マネージャー（当該大学生）各1名、選手のエントリー人数は99人までとする。
- (3) プログラム（下部パンフレット）に記載されていないスタッフ、選手は試合前に提出する「コンポジションシート」用紙に記載することはできない。
- (4) 選手・スタッフの追加エントリーの手続きは以下（①または②）の手順を行い、プログラム（下部パンフレット）に追加記載されて完了する。
 - ① 登録していない、またはエントリーされていない学生は追加登録原簿（Excel）、JVA登録（MRS）加入選手一覧（PDF）、追加エントリー届（Excel）を学連に提出し、追加記載されて完了する。
 - ② 登録していない、またはエントリーされていない大人のスタッフ（在学生以外）は追加登録原簿（Excel）、追加エントリー届（Excel）を学連に提出し、追加記載されて完了する。
- (5) 部長以外のスタッフを変更し試合に出場する場合は、大会当日に本部に臨時役員変更届を提出して許可を得て、構成メンバー表に記載されていることで変更手続きが完了する。
※選手でエントリーされている人がスタッフを行う際も、臨時役員変更届を本部に提出すること。
- (6) 追加登録・追加エントリーの期間は下記の通りとする。
○提出期限について：**試合出場週の水曜日 12時まで**
○提出窓口：add@juvf.jp
※期間外に指定の窓口以外に提出されたエントリーは認めない。

III. 大会申し込み手続き

※エントリーを行うにあたり、開催要項を熟読し、了承の上で書類を提出すること。

1. エントリーについて

締め切り日：【**2026年 7月31日（金） 18時まで**】とする

※エントリー届を提出し受付完了後の変更は、どのような理由があっても一切認めないので注意すること。

- (1) 原則としてエントリー締め切り期日までに間に合わない場合は、参加を一切認めず自動的に棄権となる。

- る。
- (2) エントリー締め切り後に、新部員の入部を確認した場合は、追加登録・追加エントリーを必ず行うこと。
 - (3) 棄権すると分かった時点で速やかに学連に連絡し、棄権届を学連事務所に郵送すること。

2. リーグ参加料

男女1・2部は7万円とする。

3. 写真について

締め切り日：【2026年 7月24日（金）18時まで】とする

- (1) 男女1、2部は、個人写真を撮影すること。
- (2) 選手はユニフォームの着用を原則とするが、用意が間に合わない場合に限り、全員が統一されたウェアでの撮影を認める。

IV. 競技・審判

1. 競技規則

本大会は、2026年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。

2. 競技方法

- (1) 男女1・2部は12チーム総当たりのリーグ戦とする。
- (2) 男女3～9部は原則12チームを前期リーグ戦の試合成績でA・Bのグループに分けてリーグ戦を行い、その成績を基にA・Bの同順位同士で順位決定戦を行う。
- (3) 男女1～3部は5セットマッチ、4部以下は3セットマッチとする。
- (4) 給水のためのタイムアウトについて
 - ① 熱中症防止の観点から、室内温度が30度以上になることが予想される場合は、12点で30秒の給水タイムアウトを採用する。また、採用する場合は、試合開始前に各チームに通達する。
 - ② チームスタッフは給水タイムアウト時には、選手と控え選手に接触（選手への声掛け等）をしてはならない。

3. 競技開始時刻

- (1) 1試合目の試合開始時刻を10：00とし、入場可能時刻、フロア開放時刻、2試合目以降の進行は各部の判断によって決定する。
- (2) プロトコールは公式練習が1チーム3分間の場合、試合開始時刻より11分前に開始する。1チーム5分間の場合、試合開始時刻より15分前に開始する。
- (3) チームが正当な理由なしに、定められた時刻までに競技場に現れない場合は、不戦敗とする。
 - ① 試合開始時刻が設定されている場合は、**試合開始時刻より15分後まで**とする。
 - ② 試合開始時刻が設定されていない場合は、**プロトコール終了より15分後まで**とするため、試合の進行状況を確認すること。
 - ③ 試合の進行状況によっては、コートを変更して行う場合もあるので、他のコートの試合状況にも注意すること。また、この決定は競技委員長または各部担当理事が行う。
 - ④ **正当な理由とは、公共交通機関の運休や遅延であり、渋滞は認められない。**

4. 試合使用球

2026年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦は、男子がミカサ製カラーボール（V300W）、女子がモルテン製カラーボール（V5M5000）を使用する。

5. 組み合わせ

試合の組み合わせは、2026年度春季リーグ戦試合結果を基に、試合の順番が偏らないように配慮して作成する。

6. レフェリー

- (1) 男女1・2部には、ファーストレフェリー・セカンドレフェリーを派遣する。
- (2) 派遣するレフェリーに不測の事態が発生した場合、補助に当たるチームの審判資格所持者がファーストレフェリーもしくはセカンドレフェリーを担当することがある。

7. 競技選手・スタッフメンバー提出について

- (1) 試合当日のコンポジションシートの提出について
 - ① エントリーする18名（選手14名及びベンチスタッフ4名）を、コンポジションシートに青ペンで記入し、本部受付へ提出すること。
 - ② 第1試合は、フロア開放後から開始設定時刻の30分前までに本部受付へ提出すること。
 - ③ 第2試合以降は、フロア開放後に本部受付へ提出すること。
 - ④ コンポジションシートを受付完了後に変更することは認めない。
 - ⑤ 部長以外のスタッフを変更する場合は下記の通りとする。
 - A) 臨時役員変更届にて、学連担当者に申し出ること。
 - B) スタッフの登録を定められた期限までに完了していること。
 - ⑥ 部長はチームスタッフではないため、監督・コーチ・トレーナー・マネージャーとしてベンチに入ることはできない。ただし、部長とチームスタッフを兼任している場合はチームスタッフとしてベンチに入ることができる。
※部長としてベンチに入る者は、チームスタッフとしての行為をできないものとする。
- (2) 正規の競技者とリベロ競技者の人数割りについて、13名以上の選手をエントリーする場合は2名のリベロ競技者を登録しなければならない。
- (3) 学生以外のスタッフについて、男女同一大学のベンチ入りスタッフを兼任することを認める。ただし、男女同一大学の試合時間が重複した場合は、男女どちらか1つのチームにエントリーを行うこと。
※スタッフ、エントリー者に限り、代理人を立てる等の処置を取ることが可能である。

8. 選手・スタッフの途中参加

選手・スタッフの試合への途中参加はその都度可能とする。

※遅れる場合は、事前にレフェリー及び学連委員に申し出ること。

- ① 監督が途中参加する場合は、到着した旨をゲームキャプテンがラリー間にレフェリーに通達し、レフェリーが確認した時点から権利を行使することができる。また、監督はセット間もしくは試合終了後に記録用紙にサインをする。
- ② 監督以外のスタッフ・選手も途中参加することを可能とする。

9. 公式練習及び試合時のベンチ

- (1) 公式練習は全日程、サーブ権を得たチームから1チーム3分間、合同練習の場合は6分間とするが、会場の都合により練習時間が十分に確保できない場合に限り、1チーム5分間、合同練習の場合は10分間とする可能性がある。
- (2) 公式練習からベンチに着席を認められた部長・監督・コーチ・トレーナー・マネージャーと競技者最大14名のみが参加することを可能とする。モッパ―2名については、ボールキーパーとしての参加のみを認める。ただし、ユニフォーム・スタッフウェア以外の統一された服装で参加することとする。
- (3) 公式練習中に監督及びチームキャプテンは、第1セットのラインアップシートをセカンドレフェリーまたはスコアラ―に提出すること。
- (4) 公式練習前のウォーミングアップのネット及びボールの使用を認める。ただし、隣接するコートにボールが入らないようにボールキーパーを配置すること。
- (5) 公式練習中は、隣接するコートにボールが進入しないよう、ボールキーパーを配置すること。ボールキーパーは、当該試合のボールリトリバーが担当する。なお、公式練習を行っているチームのモッパ―は公式練習にボール拾いとしての参加を可能とする。ただし、コートの中に入ることは、不可とする。
- (6) ボールカゴ及び部旗等は、公式練習後に競技エリアあるいは当該コートのフリーゾーンの端に置くこと。
- (7) ベンチには、飲料水・救急用具等の最低限の必需品以外を持ち込まないこと。

10. ユニフォームについて

- (1) ジャージ、パンツ、ソックスのデザインは（リベロを除き）チームで統一すること。
- (2) ソックスについては長さと色を統一し、ベリーショートソックスのようなくぶしが見える短いソックスは認めない。
- (3) アンダーウオーマー、スパッツ及びコルセットについては、ユニフォームの下に隠れるように着用し、外部に露出しないように注意すること。（膝関節の医療用装具を除く。）
- (4) リベロの着用するユニフォームは、他の競技者とはっきり区別がつく色（対照的な色）でなければならない。リベロと他の競技者のユニフォームの色が紛らわしい場合は、リベロ・ビブスを着用させる場合もある。
※競技者の胸の部分が紺色で袖の部分が白色の場合、リベロの胸の部分が白色で袖が紺色のような反対デザインのものは禁止とする。
- (5) 正規登録のリベロは、リベロ・ビブスの着用は原則認めない。
- (6) エントリー提出後、大会期間中の選手のユニフォーム番号の変更は一切認めない。
 - ① 1選手の重複番号の使用は認めない。また、1つのユニフォーム番号につき1選手とする。
 - ② 使用するユニフォーム番号は1～99番とする。

1 1. リベロ・プレーヤーの取り扱いについて

- (1) リベロが負傷や病気、退場、失格等によりプレーの続行が不可能となった場合、監督あるいは監督不在時はゲームキャプテンがいかなる理由であってもプレーできなくなったことを宣言することができる。リベロがプレー不可能と宣言された場合、監督あるいは監督不在時はゲームキャプテンが、ファーストレフェリーの許可を得てベンチ入りしているプレーヤーをリベロとして再指名することが可能である。
※リベロとして交代してベンチに戻っているプレーヤーを除き、ベンチにいるプレーヤーであれば誰でも良い。
- (2) リベロに再指名されたプレーヤーは、その試合終了までリベロとしての登録となり、元のプレーヤーに戻ることはできない。
- (3) 2人のリベロが記録用紙に記入されているチームにおいて、そのうちの1人がプレー不可能となった場合、再指名は認められないが、リベロ1人で試合を続行することが可能である。もう1人のリベロもプレー不可能となった場合は、他のプレーヤーを試合終了までリベロとして再指名することが可能である。
- (4) 再指名されたリベロがプレー続行不可能となった場合、さらにリベロを再指名することが可能である。
- (5) 監督がセカンドレフェリーに、口頭で「リベロの再指名」を要求する。そのとき、リベロと再指名されるプレーヤーは、ナンバーパドルを使用する場合はリベロ・リプレイメント・ゾーンにナンバーパドルを持って準備をして立っていないなければならない。
※再指名されたプレーヤーはビブスを着用するか、リベロと同じユニフォームを着用する。しかし、番号はプレーヤー自身の登録番号と同じものを着用する。
- (6) リベロがコート上にいるときでも再指名を行うことが可能である。その場合、セット間にリベロの再指名をする旨をレフェリーに通達する。

1 2. ワイピング行為について

- (1) モップは当該チームから2名まで配置することを可能とする。配置する場合、服装はユニフォーム・スタッフウェア以外の統一されたもので行うこととする。
- (2) モップがない時は、試合前にチームがレフェリーにその旨を通達することで、ベンチメンバーが担当することを認める。
- (3) 試合開始前、タイムアウト及びセット間におけるモップを使用したワイピングは実施しない。必要であれば、モップがタオルを持ちコート内を確認すること。
- (4) モップが応援及びドリンク・アイシング作り等のチームのマネジメント行為をすることは一切禁止とする。

1 3. 試合前の待機中のチームについて

- (1) 試合終了後のあいさつが終了し、学連担当者の指示があるまでフロア外に待機すること。
- (2) アップに関しては、各会場の指示に従うこと。

1 4. 部長・チームスタッフについて

- (1) チームスタッフは、当該大学生以外の場合、一般財団法人全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長・マネージャー以外の全ての役割を担うことができる。
- (2) 部長は当該大学の教職員でなければならない。
当該大学の学生は、公益財団法人日本バレーボール協会、一般財団法人全日本大学バレーボール連盟に登録されていれば、部長以外の役割を担うことができる。
- (3) 部長・監督は原則として季節に応じた正装（ジャケット必須）とする。ただし、ネクタイは不要とする。コーチ・トレーナー・マネージャーは原則として季節に応じた、統一された服装とする。短パン、ハーフパンツ等は原則として許可されないが、気温が高く熱中症等が懸念される場合、競技委員長または各部担当理事の判断により緩和することができる。
※部長・監督がトレーニングウェアを着用する場合は、スタッフ全員が統一されたものを着用すること。ランニングシャツ等は不可とする。
- (4) 監督が試合中に妨害あるいは遅延を行わない限り、自チームベンチ前のアタックラインの延長戦から競技コントロールエリアのコーナーにあるウォームアップエリアまでのフリーゾーン内で立ちながらも歩きながらも指示を出すことを可能とする。
- (5) 試合中、相手チームに対して、選手を牽制するような言動は禁止とする。
- (6) 部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは役員章（部、監、C、T、M）を付けなければベンチに入ることを認めない。なお、役員章は見えやすい位置に着用すること。
- (7) 学連委員を必ず登録し、パンフレットに記載することとする。

1 5. 学生補助役員

- (1) 学生補助役員は17名（スコアラー1名、アシスタントスコアラー1名、ラインジャッジ4名、点示2名、ボールリトリバー6名、JVIMS3名）で行うものとする。
- (2) 第1試合の補助役員については第3試合の両チームが担当するものとする。
- (3) 学生補助役員はプロトコール15分前までに記録席に集合すること。
- (4) ラインジャッジはレフェリーの一人として正確なジャッジをすること。
- (5) 点示員は試合を観戦することなく、正確な得点表示をすること。
- (6) ボールリトリバーは、公式練習中は隣のコートにボールが入らないよう、ボールキーパーをすること。ボールキーパーは公式練習中にプレーエリア内に入ることはできない。
- (7) ラリー中は片膝立ち姿勢を維持すること。座り込んだり、注意散漫になったりしないこと。ボールをサーバーに渡すとき以外は投げずに、迅速に床に転がし試合の運営に当たること。サーバーにボールを渡すリトリバーは、インプレー中はボールを保持すること。
- (8) 人数が不足する場合は、対戦する相手チームに協力を依頼すること。
- (9) チーム内で統一された服装（ユニフォーム不可）で行い、任務を遂行すること。
- (10) JVIMSの判定員は、原則として判定員講習会を受講した者が務めるものとする。ただし、チーム内に判定員講習会を受講した者がいない場合は、所属学連の委員に相談すること。

1 6. 規律委員会について

規律委員会は競技違反、規則・規律違反があった場合、ただちに委員会を開催し、処分規則に従って処分を決定する。

1 7. 棄権・没収の取り扱い

- (1) 棄権の取り扱いについて
※感染症以外での棄権については、同部最下位とする。
※虚偽の報告がなされた場合には、規律委員会にかけ処分を決定する。
※棄権については従来通り「0-3」（0-25、0-25、0-25）もしくは「0-2」（0-25、0-25）として処理し、順位を決定する。
- (2) 秋季リーグ全試合棄権について（対象：男女3部以下）
秋季リーグ戦の全試合を棄権したチームは、現在所属する部で秋季リーグ最下位として扱い、入替戦

(自動入替)の対象とする。

※その際、「0-3」(0-25、0-25、0-25)もしくは「0-2」(0-25、0-25)として処理する。

※複数チームいる場合には、前期リーグ戦の結果を基に棄権チームに順位を付ける。

※事前棄権したチームがリーグ期間中に他の大会に出場していることが発覚した場合には、規律委員会にかけ処分を決定する。

18. リーグ戦の順位決定方法

男女1・2部の順位決定方法は、以下の通りとする。

(1) 勝敗

(2) セット率 $\frac{\text{総得セット}}{\text{総失セット}}$ これを算出し高い方を上位とする。

(3) 得点率 $\frac{\text{総得点}}{\text{総失点}}$ これを算出し高い方を上位とする。

(4) 得点率も同じ場合

① 2チームの場合は当該校同士の試合の勝ちチームを上位とする。

② 3チームの場合は前期リーグ戦の順位により決定し再試合は行わない。全試合終了後、代表者会議を開き、戦績及び順位の確認を行うこととする。

19. 昇降格

(1) 男女1・2部

男女1・2部については以下の通り入替戦を行う。

男女1部11位-2部2位、男女2部11位-3部2位、

男女1部12位-2部1位、男女2部12位-3部1位

(2) 男女3部～9部

男女3部～9部については自動入替とする。

20. 入替戦

(1) 期日・会場

男子1・2部間：10月31日(土) 会場：未定

女子1・2部間：10月31日(土) 会場：未定

男子2・3部間：11月 1日(日) 会場：未定

女子2・3部間：11月 1日(日) 会場：未定

(2) 競技方法・競技規則

① 5セットマッチとする。

② 2026年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則による。

③ 出場資格：リーグ戦最終日までに登録された選手に限る。

(3) 入替戦期日の前週までに、男女1～3部は順位を確定しておくこととする。また、再試合が発生している場合も同様の扱いとする。

V. 会場使用上の注意

(1) 横断幕を張る際には会場使用上の注意事項に従うこと。不明な点は学連担当者あるいは会場校代表者に尋ね適切に行うこと。

(2) 会場で出たごみは各チーム(各自)責任をもって持ち帰ること。会場にごみを放置したまま帰る等の行為は禁止とする。また、会場や駅等の会場周辺のごみ箱の使用も禁止とする。

(3) 各会場の電源使用は会場毎に異なるため、注意事項を確認すること。

(4) 喫煙について、全会場喫煙所以外での喫煙を禁止とし、指定場所以外での喫煙を目撃した場合は当該チームを出場停止処分とする。チーム内で必ず徹底すること。

(5) 飲食する際は各会場の指示に従うこと。

(6) 貴重品等の盗難に関して、当連盟では一切の責任を負わない。各チーム荷物の管理は徹底すること。また、忘れ物・遺失物は各会場受付にて管理する(リーグ戦開催中のみ)。貴重品以外の忘れ物・遺失

物は大会終了後に処分する。

- (7) チームの荷物置き場は各会場にて学連委員に確認すること。
翌日のために荷物を置いて帰る場合は、学連委員の指示に従い、他のチームのことも考慮して最小限のスペースに収まるように協力すること。また、アルコール除菌等により清潔にして帰ること。チームの勝手な判断による荷物の放置は、他の目的での施設利用者の迷惑となるため、一切禁止とする。また、チームの荷物の紛失に関しても当連盟では一切の責任を負わない。

VI. その他

- (1) 本リーグ戦前にエントリー選手は健康診断を受けること。選手の健康管理については、チーム及び個人の責任としてこれを受け止め、十分留意すること。
- (2) 本リーグ戦の期間中に選手が負傷した場合、第一義的にはトレーナーが処置を行うこと。応急手当補助は行うが、あくまでも医師等に見せるまでの応急手当である。当連盟は一切の責任を負わない。
- (3) 2026年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則、2026年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦開催要項事項違反、応援者の悪質な行為、各施設の利用規則違反及び学生としてのマナー欠如等は、競技違反等に関する規律委員会における処罰の対象となるので十分注意すること。

VII. 本リーグ戦に関する問い合わせ先

一般財団法人関東大学バレーボール連盟

〒101-0035

東京都千代田区神田紺屋町46 風月堂ビル405号室

ご意見やご不明点に関しては、下記のメールアドレスにてお申しつけください。

E-mail : info@juvf.jp

HP : <https://kanto.volleyball-u.jp/>